

美術科学習指導案

日 時	平成24年10月4日(木) 5校時
学 級	北上市立北上中学校 1年D組 男子18名 女子17名 計35名
場 所	美術室
授 業 者	教諭 菊地 仁美

1 題材名 鑑賞 「和風」を味わう ―暮らしに生かす日本の形や色―

2 題材について

日本人の生活様式の西洋化に伴い、「和風」のイメージは中学生にとって古くさく親近感が湧きにくいものかもしれない。しかし、いまも私たちの生活の様々な場面で生きている「和風」のものを、まず身の回りのものを振り返ることによって再発見させ、そこから形や色の特徴を読み取らせていく。

また、歴史的な美術や文化も自分たちと隔絶したものでなく、様々なレベルでつながっていることに理解が及ぶようにさせ、表面的な様式や技法をさらうのではなく、歴史や伝統を自分たちの生活に生かすという視点を内在化させた鑑賞の授業をめざしたい。

多種多様な和風文化からテーマを絞り込んだ形で資料提示しながら鑑賞に関わる生徒の積極的な活動を引き出していき、さらにはそのテーマから広く日本の伝統的な文化や表現様式のよさを感じ取らせるように授業を展開する。

新学習指導要領・解説・美術編では「和風」「洋風」の特性などを過去の文化遺産として積極的に鑑賞し、日本の美術や伝統、文化に対する関心を高めることはもとより、鑑賞において思いや考えを話し合い、視点や感情、イメージを基に話したり意見を聞いたりする鑑賞の在り方が位置づけられている。生徒同士の積極的交流を意図しながらその主旨に迫りたい。

3 生徒について

中学美術で出合う様々な新しい題材やテーマに素直な感動を示しながら意欲的に取り組んできた生徒たちで、ルールや授業規律に従い、制作にじっくりと向き合う姿勢を持っている。やや作業効率の悪さが目立つ生徒もあるが、小グループの交流において作業のポイントや修正点を意見交換しながら制作を進めてきた経緯もある。

本時は制作を取り入れずに自分の意見や考えを記入・発表したり、小グループにおける話し合いによって意見をまとめたりしながら鑑賞のねらいに迫る授業を構想している。4月に教科書の図版や写真を取り上げて以来の鑑賞授業となる。一枚の絵と向き合う新鮮な感動を各々が素直に表現し、それを受け入れるクラスのよい雰囲気がある。本時も表面的な感想に終始することなく、一步踏み込んで日本美術や文化のよさを自分の言葉で表現し、率直に交流する姿勢をひきだしたい。

4 題材の目標

【美術への関心・意欲・態度】

- ・日本の伝統的な美術文化や生活様式に関心をもち、主体的によさや美しさを感じ取ろうとしている。

【鑑賞の能力】

- ・日本人が大切にしてきた心情や意図と表現の工夫、生活と美術とのかかわりなどを感じ取り、日本の美術文化の特性やよさに気づくことができる。

5 題材の指導計画 (2時間扱い)

時間	学習活動	評価規準	
		美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
1	暮らしの中で触れる様々な日本らしさを認識し、その伝統的な生活文化や表現様式のよさを考える。	日本の伝統的な生活文化や表現様式に関心を持ち、主体的に意見を出しながらその特徴を理解しようとしている。	日本の伝統的な生活文化や表現様式の良さや美しさを感じ取っている。
1 本時	日本の伝統文様のデザインから、その形や色彩の特徴を理解し、伝統的な装飾や表現様式のよさを考える。	日本の伝統文様のデザインに関心を持ち、そのよさや美しさを主体的に感じ取ろうとしている。	日本の伝統文様のデザインに関心を持ち、そのよさや美しさを主体的に感じ取り、日本の美術文化の特性やよさに気づいている。

6 本時の指導

(1) 本時の目標

日本の伝統文様のデザインから、その形や色彩の特徴を理解し、伝統的な装飾や表現様式のよさを感じ取る。

(2) 本時の授業構想

- ・前時の復習として言葉の意味を確認するとともに、暮らしの中の「日本らしさ」を振り返る。
- ・文様シート(テキスタイルパターン)を「和風」「外国風」に仕分ける作業を通して「和風」の大まかな概念を形成し和風分析の足掛かりとするとともに、「和」の共通要素を確認することを「教える」部分とする。
- ・小グループごとに文様シートを改めて鑑賞し、具体的に分析しながら和風文様の特徴や様式美を確認することを「理解確認」の部分とする。
- ・手ぬぐいや布地などの実物を提示し、その感触や文様を確認しながら日本の伝統的な美や表現様式のよさについて考えさせることを「理解深化」課題とする。
- ・さらに「発展課題」として和風文様の風呂敷による包み方を交流する実技を取り入れ、用途にも踏み込んで日本文化のよさ感じ取らせたい。
- ・まとめの記述及び自己評価によりこの題材の振り返りを行う。

(3) 評価の観点と具体的評価規準

	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への手立て
関心・意欲・態度	・前時の学習内容を想起しながら和風文様に関心を持ち、話し合いに意欲的に参加し、そのよさを積極的に感じ取ろうとしている。	・和風文様に関心を持ち、主体的に意見を出しながらその特徴やよさを感じ取ろうとしている。	・「洋風」様式との比較において、具体的にポイントを示しながら、「和風」の印象や面白さに気付かせ意欲を引き出す。
鑑賞の能力	・探究心を持って和風文様を鑑賞し、グループの話し合いにも積極的に参加し、自分なりの見方や考え方で「和風」のよさや美しさを心から豊かに感じ取っている。	・和風文様を鑑賞し、仲間の発表や感じ方などからそのよさを味わい、自分なりの見方や感じ方をまとめながら「和風」のよさや美しさを感じ取っている。	・鑑賞の観点を改めて押さえさせながら読み取りのヒントを与え、話し合いや発表の内容を再確認させ、よさや美しさに気づかせるようにする。

(4) 本時の展開

段階	学習活動と留意点	評価
<p>教える</p> <p>教師の説明</p> <p>10分</p>	<p>① 暮らしの中の日本らしさの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「和風」「ジャポニズム」などの言葉の意味 ・「和風」「日本らしいもの」の印象 <p>② 本時の目標の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">日本の伝統文様の魅力を探ろう。</div> <p>③ 「和風」「外国風」の文様（テキスタイルパターン）のグループ分け作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕分けの判断基準や「和風」に共通する要素を考えさせながら、「和風」のよさをおおまかにとらえさせる。 <p>※文様シート・学習プリント</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>授業の準備をし、前時の復習ができる。和風文様に関心を持ち、そのよさを感じ取ろうとしている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【鑑賞の能力】</p> <p>和風のよさや美しさを自分なりの見方で感じ取ることができる。</p> </div>
<p>理解の確認</p> <p>15分</p>	<p>④ 「和風文様」の特徴の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の「文様シート」を小グループに配布し、示された観点に従って文様を分析させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>〔分析の観点〕</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 何が描かれているか ② どのように配置されているか ③ 形の描き方の工夫は ④ 配色の工夫は ⑤ その他 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・代表グループの発表 代表グループに発表させ、分析結果を共有することで理解確認とする。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>話し合いに参加し結果を整理し、記述や発言しながら、「和風」の特徴を具体的に理解しようとしている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【鑑賞の能力】</p> <p>既習事項や話し合いをもとにした自分の見方、感じ方を記述、発表するなどして鑑賞を深めることができる。</p> </div>
<p>考えさせる</p> <p>理解深化</p> <p>20分</p>	<p>⑤ 日本の伝統的な美術文化のよさの理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「和風」の布地や手ぬぐいなどの実物を提示し「用途」や「素材」にも踏み込んだ鑑賞を行う。 ・日本らしい美やデザインのよさについて ・「外国風」との比較においてその優れた点について <p>⑥ 発展課題</p> <p>『日本が誇る万能の布、風呂敷を使ってみよう。』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな風呂敷の包み方を交流し、用途も含めた日本文化のよさを感じ取らせる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>活動に参加し、感じたことを共有しながら日本美術のよさを理解しようとしている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【鑑賞の能力】</p> <p>日本の美術文化について、考え方の変化や鑑賞深まりを自分の言葉で記述することができる。</p> </div>
<p>自己評価</p> <p>5分</p>	<p>⑦ 本時の学習内容の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「和風」や日本の美術文化について理解が深まったと思うことを記述させる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【鑑賞の能力】</p> <p>日本の美術文化について、考え方の変化や鑑賞深まりを自分の言葉で記述することができる。</p> </div>